

保管用

LED 投光器

80W形 LTE0881NDG(NW)・LTE0882NDG(NW)・LTE0883NDG(NW)・LTE0884NDG(NW)

100W形 LTE1081NDG(NW)・LTE1082NDG(NW)・LTE1083NDG(NW)・LTE1084NDG(NW)

●電源電圧

100V/200V/242V

日本国内用

■器具の取付工事には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず電気工事店（有資格者）に依頼してください。
お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。
ここに示した注意事項は、表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例



「警告や注意を促す」
内容のものです。



してはいけない「禁止」
内容のものです。



実行していただく「指示」
内容のものです。

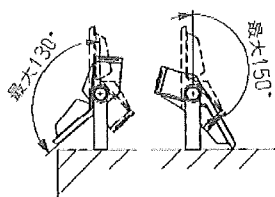
工事店様へ この説明書は、工事終了後、必ずお客様にお渡しください。

1. 安全上のご注意（必ずお守りください）



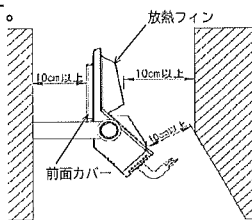
警告

- 器具は下記の使用環境、条件では使用しないでください。※火災、感電、および落下のおそれがあります
 - ・周囲温度が常時指定温度を超える場所
 - ・振動、衝撃の激しい場所
 - ・雪解け時に器具が水没するような環境
 - ・腐食性ガス、可燃性ガス、塩害の生じる場所
 - ・粉塵の多い場所
 - ・湿度が85%を超える場所、および水の浸る場所
 - ・可燃材に触れる場所
- 施工の際は取扱説明書に従って正しくおこなってください。
※誤った取扱いがあると、火災、感電、または落下によるケガのおそれがあります。
- アース工事は電気設備の技術基準に従い、確実にこなしてください。※アースが不完全な場合は感電、LED損傷のおそれがあります。
- 器具の改造、部品の変更はおこなわないでください。※火災、感電、および器具の落下によるケガのおそれがあります。
- 器具は質量や風圧などの荷重に耐える場所に確実に取付ける。※落下によるケガのおそれがあります。
- 器具を布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしないでください。※火災のおそれがあります。
- 欠けやひび割れの発生している前面カバーは使用しないでください。※前面カバー落下によるケガのおそれがあります。
- 前面カバーは、衝撃が加わると破損する恐れがあります。取扱いにご注意ください。
- 日中の直射日光や西日の強く当たる状態では点灯させないで下さい。※火災のおそれがあります。
- 雪に埋まったまま放置され器具の強度以上の力が加わる場合、器具破損の原因となる可能性があります。
- 投光器を施工する際、投光器の口出線を持つての運搬は行わないでください。
※浸水や断線による絶縁不良・ランプ不点・火災・感電の原因となることがあります。
- 投光器の可動範囲は図1のようになっております。この範囲をご確認のうえ、投光器の取付けを行ってください。
その際、構造物とアームとの関係に注意して投光器が構造物に触れないようにしてください。取付の際は、前面カバー並びに放熱フィンが構造物から10cm以上離して設置してください。10cm以下の場合は専用アーム、専用フランジを使用して間隔を保つようにしてください。※火災及び器具の故障の原因となることがあります。



※前面カバー並びに放熱フィンを
構造物から10cm以上離して設置
してください。
※器具の使用制限範囲はありません。

図1 構造物との干渉



●本投光器は定置形器具です。
それ以外の用途で使用する
と、火災・感電・やけど・
落下による事故、及び器具
破損等の原因となることが
あります。



注意

- 器具の取付けには十分注意をはらってください。
 - ・器具からの漏れ光が環境へ悪影響をおよぼす場合がありますので、取付けの際は考慮してください。
 - ・照射距離が近い場合、火災の原因となりますので注意してください。（10cm以上離して下さい。）
- 定格電圧（定格±6%以内）は電源接続の際に必ず確認をしてください。※誤って使用しますと、火災、LED損傷の原因となることがあります。
- LEDを直視しないでください。※目の障害の原因となることがあります。
- 使用する電線は取扱説明書指定品と同等以上の性能を有する電線を使用してください。
※指定性能以外の電線を使用すると火災、感電の原因となることがあります。
- 投光器を移動灯として使用しないで下さい。※破損によるケガ、やけど、故障の原因となります。
- 冠水のおそれのある場所では使用しないでください。※漏電、感電、故障の原因になります。

その他のご注意

- 漏電ブレーカに多数の照明器具を接続する場合、漏電ブレーカの感度電流の設定に注意してください。不要動作を防止するため、感度電流が30mAの高周波対応形漏電ブレーカの場合、漏電ブレーカに接続する本投光器の台数を最大35台としてください。

2. 各部の名前と取付けかた

●投光器の取付

◎投光器は構造物への取付けを考慮のうえ、設置してください。
※オプションの取付けは別途商品の取扱説明書をご覧ください。

1. 投光器のアームには図3のように取付穴(φ12.5)が設けてありますので適用ボルトM10で緩みのないように確実に締付けてください。(締付推奨トルク17~24N・m)
構造物などに直付けの場合はボルト2本で取付けてください。締付けが不十分な場合、ボルトが外れ、器具の落下の原因となることがあります。
2. 専用取付アーム(LTEA51(52)DG(W))、専用フランジ(LTEF53DG(W))には取付用のボルト、もしくはナットが付属されていますが投光器には付属されていないので、別途準備してください。

●照射角度の調整

1. 図2のアーム締付ねじを緩めて照射角度に合わせてください。
2. 照射角度調整後、しっかりと締付け直してください。手での締付けが不十分な場合、図2の締付ねじに締付用の穴がありますので、図4のように一般形のドライバ(先端径φ6.5以下)で確実に締付けてください。

※締付けが不十分な場合、投光器の落下による事故の原因となることがあります。

●電源線の接続

1. 投光器の口出線(3心キャブタイヤケーブル)に接続する配線は、クロロブレンキャブタイヤケーブルと同等以上の性能を有するケーブルを使用し、投光器からの口出線の茶色、青色に電源を結線してください。(図5)

<従来電線の色との比較>

(従来)	(本器具)
黒色線(電源線)	→ 茶色線(電源線)
白色線(電源線)	→ 青色線(電源線)
赤色線(アース線)	→ 緑/黄色線(アース線)

<推奨接続方法>

器具の口出線の末端にはHスリーブが付いています。
図6に示すような差込形の端子台(押しねじ式)の使用を推奨します。

<Hスリーブを使用しない場合>

Hスリーブを使用しない場合は、Hスリーブを切断し電線の被覆をむき結線を行ってください。
絶縁処理は導体部分のみではなくシース(外被)部も含めて行ってください。不十分な場合、電線からの浸水による絶縁不良や、ランプ不点の原因となることがあります。
結線は確実に絶縁処理を施してください。
口出線の接続は電気設備技術基準の省令第7条、及び同解釈第12条に従ってください。(具体的な接続方法：内線規程1335-7参照)

2. 3心のうち緑/黄色線がアース線です。D種接地工事を行ってください。

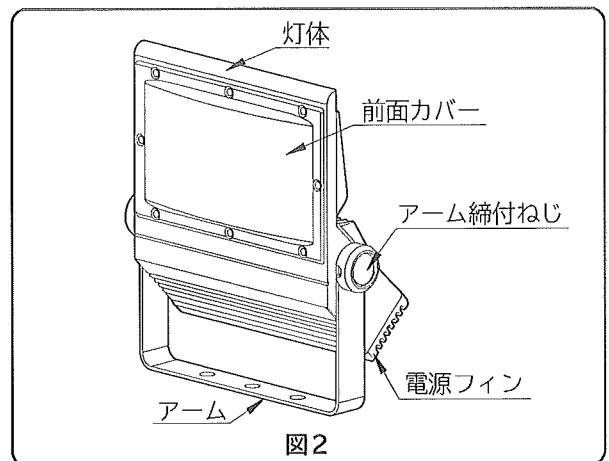


図2

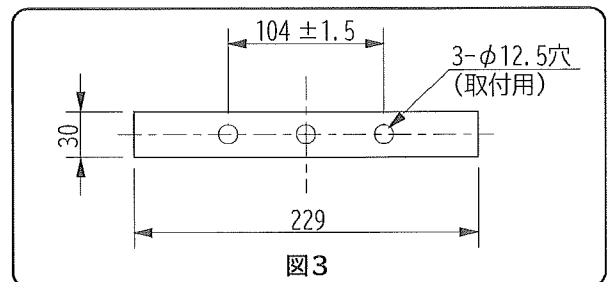


図3

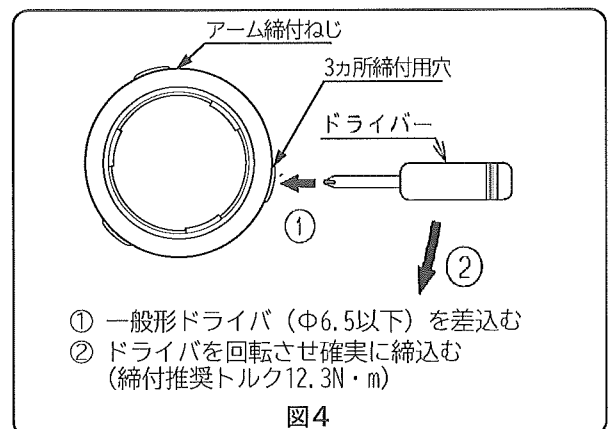


図4

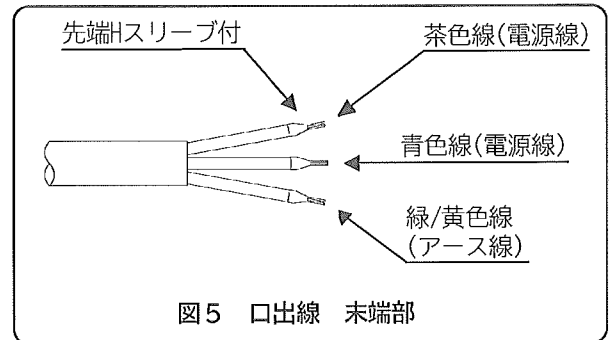


図5 口出線 末端部

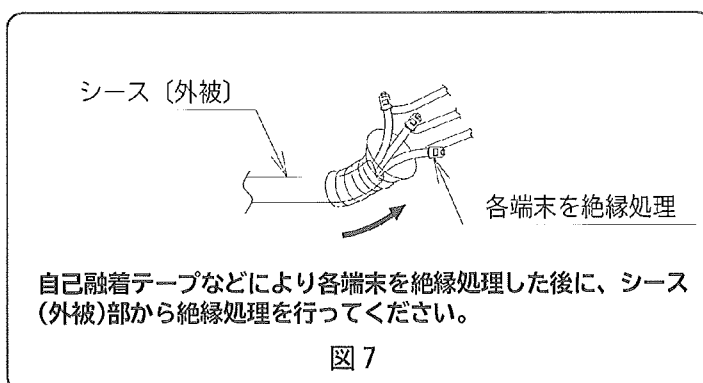


図7

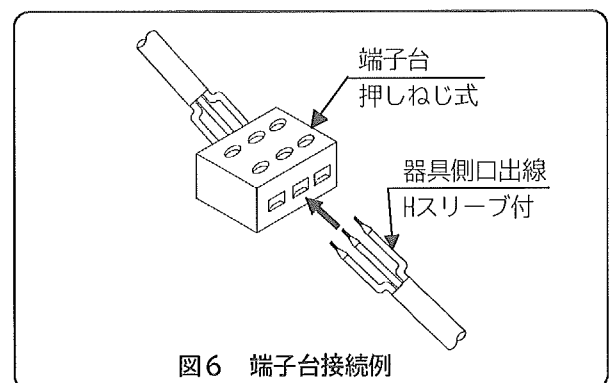


図6 端子台接続例

お客様へ この取扱説明書は必ず保管してください。

- このたびは日立LED照明器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

3. 安全上のご注意（必ずお守りください）

警告

- 器具の改造、部品の変更はおこなわないでください。※火災、感電、または落下によるケガのおそれがあります。
- 万一、煙が出たり、異臭がするなどの異常を感じたら速やかに電源を切り、販売店、または工事店にご相談ください。
異常状態のまま使用しますと火災、感電のおそれがあります。

注意

- お手入れの際は、必ず電源を切って、器具が十分冷えてからおこなってください。※感電、やけどの原因となることがあります。
- 亀裂の発生した前面カバーはそのまま使用しないでください。
- LEDを直視しないでください。※目の障害の原因となることがあります。

ご使用上の注意

- 安全に使用するために、定期的（年1回）に工事店等による点検を行ってください。
異常がありましたら販売店、または工事店等にご相談ください。
※異常状態のまま使用しますと、火災、感電、落下の原因となることがあります。
- この器具には寿命があります。一般的な使用場所では設置して8～10年経つと外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。
交換・点検をおこなってください。※使用条件： 周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯（JIS C 8105-1解説による）
- LEDは白熱灯や蛍光灯などの一般光源と比較して色バラツキが大きいのが実情です。そのため個々LEDによる色味が異なる場合があります。また照射距離が近い場合は、照射面によって光ムラや色ムラが生じることがあります。
- 投光器の周囲温度が35℃を超える場所で使用した場合、又は直射日光の当たる場所でランプを点灯した場合、内蔵温度ヒューズが働き、ランプが消灯する場合があります。電子部品の保護機能であり温度が低下すれば復帰しますが、このような環境下では使用しないでください。※温度上昇により火災、電源の故障、若しくはLEDの寿命が短くなる原因となることがあります。
- 投光器の前面カバーは交換ができませんので、傷などをつけないでください。
※破損、防水不良、照度低下の原因となることがあります。また亀裂の入った前面カバーは使用しないでください。
- 温泉地など、腐食性ガスが発生する場所での使用はお避けください。※光学特性等に不具合が発生することがあります。
- 投光器の角度調整は10°ピッチです。それ以外の角度で使用すると不十分な締付けになり、投光器の落下の原因となることがありますので、行わないでください。

4. お手入れ（必ず電源を切ってから行ってください）



必ず守る

- 器具の清掃について…汚れを落とす場合は、洗剤（薄めた中性洗剤がおすすめ）を浸したやわらかい布をよく絞って拭き取り洗剤が残らないように乾いた布で仕上げてください。シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり殺虫剤をかけたりしないでください。火災・変質・変色の原因になることがあります。
- LED交換について…LED交換は出来ない構造です。定格寿命後は器具の交換をおこなってください。



禁止

- 点灯中や消灯直後は、ランプが高温になっているので触れないでください。やけどの原因となります。

※ご使用中に前面カバーや反射鏡が若干白く曇る場合があります。シリコンゴムパッキンから発生する微量の揮発ガスの付着であり、異常ではありません

5. 仕様

名称	80W LED投光器				100W LED投光器			
型式	LTE0881NDG (NW)	LTE0882NDG (NW)	LTE0883NDG (NW)	LTE0884NDG (NW)	LTE1081NDG (NW)	LTE1082NDG (NW)	LTE1083NDG (NW)	LTE1084NDG (NW)
配光性能	特広角配光	広角配光	中角配光	狭角配光	特広角配光	広角配光	中角配光	狭角配光
光源色	特広角配光：昼白色 色温度5000[K] ^{+560K} _{-500K}				広角・中角・狭角配光：昼白色 色温度5000[K] ^{+560K} _{-255K}			
仕上色	DG：ダークグレイ(半艶) マンセル N3				W：ホワイト(半艶) マンセル N9.5			
口出線	クロロプレンキャブタイヤケーブル 1.0mm ² ×3心 器具外1.5m 先端Hスリーブ付き							
質量	3.5Kg±10%							
防水性能	防噴流形							
定格入力電圧	100 V	200 V	242 V		100 V	200 V	242 V	
定格消費電力	80 W	80 W	80 W		100 W	100 W	100 W	
入力電流	0.81 A	0.40 A	0.33 A		1.01 A	0.51 A	0.42 A	
	0.80 A	0.42 A	0.35 A		1.00 A	0.51 A	0.43 A	
電圧変動範囲	定格値±6%							
周波数	50/60Hz共用							
使用温度範囲	-5～35℃							
使用場所	屋外の一般的な場所							

注)入力電流欄の上段は特広角配光の値を下段は広角配光、中角配光、狭角配光の値を示します。

- この製品は日本国内専用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

6. 保証とアフターサービス

- 照明器具保証期間は、商品お買い上げ日より1年間です。
- 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。
- 取扱説明書等の注意書に従った状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理等の処置をさせていただきます。
保証期間を過ぎているときは、お買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- ご使用中、もし器具に異常が生じた場合は直ちに使用を中止し、工事店または下記のところに、器具の形式・故障状況を連絡のうえ修理を依頼してください。

お願い

- LEDは白熱灯や蛍光灯などの一般光源と比較して色バラツキが大きいのが実情です。そのため個々LEDによる色味が異なる場合があります。また照射距離が近い場合は、照射面によって光ムラや色ムラが生じることがあります。
前面カバーの表面に線状のキズのようなものがある場合がありますが、これはキズではなく製造上、不可避なものでありご使用上問題ありません。ご了承ください。